SONY

3-300-474-**04** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

フロアスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

SU-FL71M

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

行為を指示する記号

指示

対応モデル

対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。また、いくつかのモデルは在庫切れになっていることがあります。
対応モデル以外のものを取り付けると、落下によるけがや破損の原因となります。

	地上·BS·110度CS デジタルハイビジョン 液晶テレビ
SU-FL71M	KDL-46/40X5050 KDL-46/40X5000 KDL-46/40W5000 KDL-46/40V5000 KDL-46/40V3000 KDL-46/40V1 KDL-46/40/32F1 KDL-40/32J5000 KDL-40/32J3000 KDL-32J1

（2008年3月現在）

上記以外のモデルをお使いの場合は、本製品が使用できるかどうかはテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

組み立て手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていると、スタンドが転倒したりテレビが落下して、大けがや破損の原因となることがあります。

指示

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。テレビと壁などをつないで転倒防止の処置を行ってください。

注意

堅くて平坦な床面に設置する

傾いた床面に設置するとスタンドが転倒したり、テレビが落下して大けがの原因となることがあります。
畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は、板など堅いものを敷いてください。

指示

ひび割れが入ったスタンドは使わない

多少のひび割れでも使わないでください。ガラスが割れたり、テレビが転倒して、大けがの原因になります。

禁止

スタンドの上に乗ったり、踏み台にしない

ガラスが割れる、スタンドが転倒する、テレビが落下するなどの事態が発生し、大けがや死亡の原因となります。

禁止

テレビの電源コードおよび接続ケーブルをはさまない

テレビをスタンドに取り付けるときやスタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさみこまないようにする。
電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

禁止

テレビを取り付けたままや、接続機器を収納したまま移動させない

腰を痛めたり、スタンドが転倒して、大けがの原因となります。また、接続機器の落下により、ガラスが割れたりして、破損の原因にもなります。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

組み立てや設置は必ず2人以上で行う

1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。また、設置するときは、お子様が近づかないようにしてください。

指示

スタンドの分解・改造は行わない

落下によるけがや破損の原因となります。

分解禁止

熱いものを直接スタンドに置かない

熱により変色、変形することがあります。

禁止

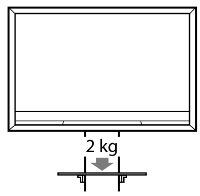
使用上のご注意

設置について

- スタンドを組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため梱包材などを敷いてください。
- スタンドを組み立てる前に、設置場所をきめてください。

総積載量について

図に示す質量以上のものを載せないでください。指定の質量を超えると、棚板が割れることがあります。



移動について

無理に動かそうとすると、腰を痛めたり、足をけがしたりする原因になりますので、下記のことをお守りください。

- スタンドを引きずらない。スタンド底面の部品がはずれて、床に傷がつくおそれがあります。
- スタンドを動かすときは、手足を底板にはさまないように注意する。
- スタンドを動かす時は、ガラス部分を持たない。

お手入れについて

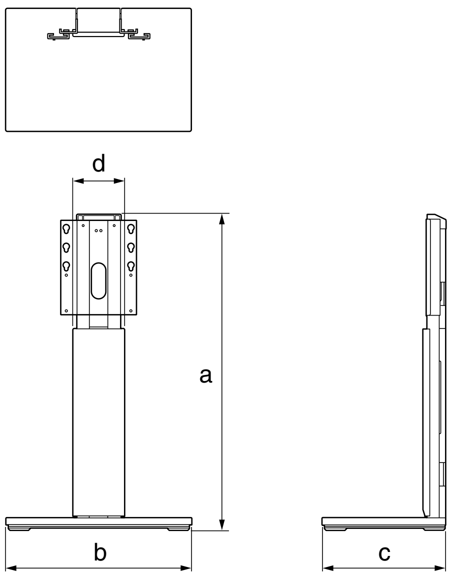
やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を水で薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

準備をする

組み立てる前に

- ネジに合ったプラスドライバーをご用意ください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5 N·m {15 kgf·cm}に設定してください。

主な仕様

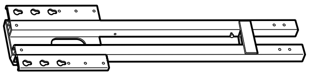


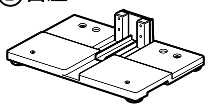
寸法(mm)	a	1,022
	b	600
	c	400
	d	163
質量(kg)		45

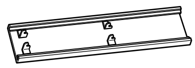
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

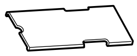
部品を確認する

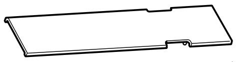
- 部品が正しく揃っているかご確認ください。
- 部品袋にアルファベットが記載されています。

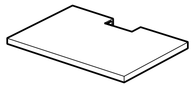
Ⓐ支柱 ×1


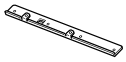
Ⓑ台座 ×1


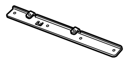
Ⓒフロントカバー ×1


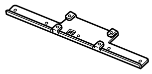
Ⓓリアカバートップ ×1


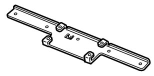
Ⓔリアカバーボトム ×1


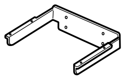
Ⓕ台座カバー ×1


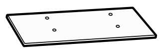
Ⓖブラケット32型用(L) ×1


Ⓗブラケット32型用(R) ×1


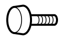
Ⓘブラケット(L) ×1


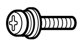
Ⓙブラケット(R) ×1


Ⓚアーム ×1


Ⓛ棚板 ×1


Ⓜフック ×2


Ⓝ固定ネジ ×2


Ⓞネジ(M6×16) ×8


Ⓟネジ(M5×12) ×8

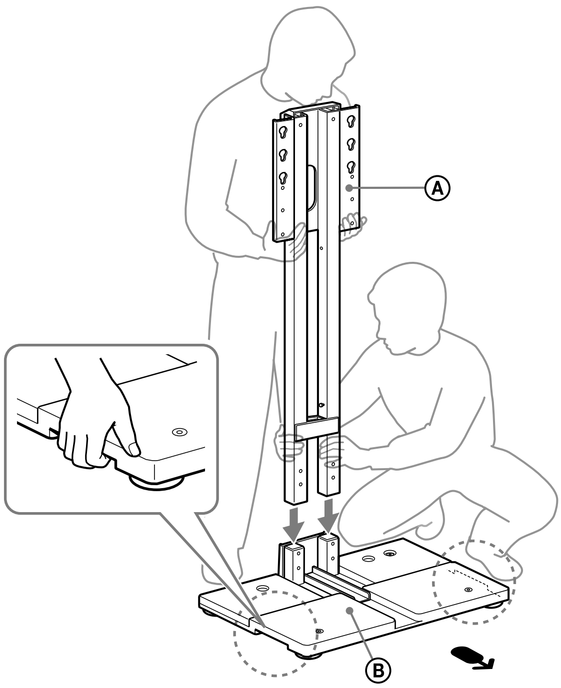

Ⓠネジ(M4×8) ×8


設置をする

必ず2人以上で組立作業を行ってください。

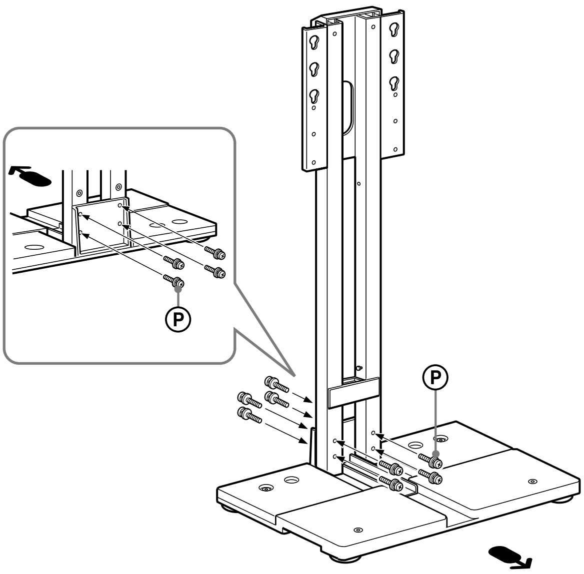
1 フロアスタンドを組み立てる

1 **支柱Ⓐを台座Ⓑに差しこむ。**

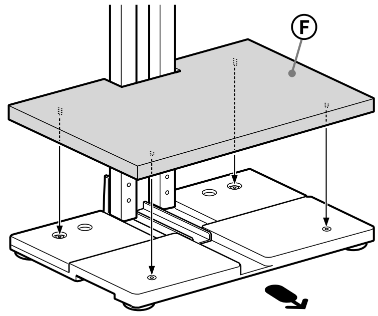


矢印は正面方向を示します。

2 **支柱Ⓐと台座Ⓑをネジ(M5×12)Ⓟ(8本)で固定する。**



3 **台座カバー Ⓕを台座Ⓑに取り付ける。**

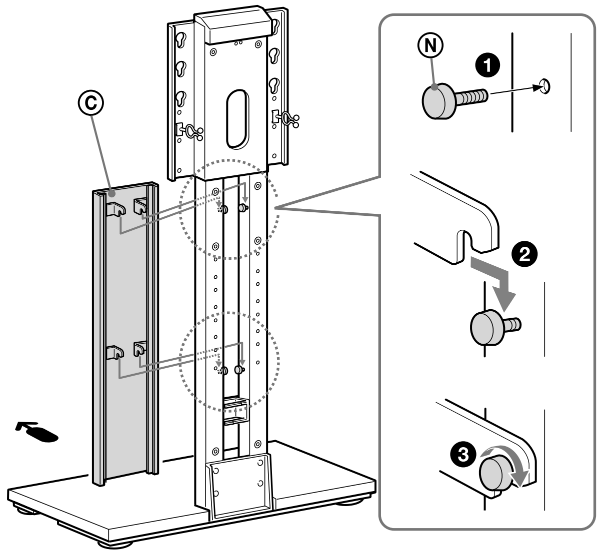


4 **フロントカバー Ⓒを支柱Ⓐに取り付ける。**

❶ 固定ネジⓃ(2本)を支柱Ⓐに仮留めする。

❷ フロントカバー Ⓒを取り付ける。

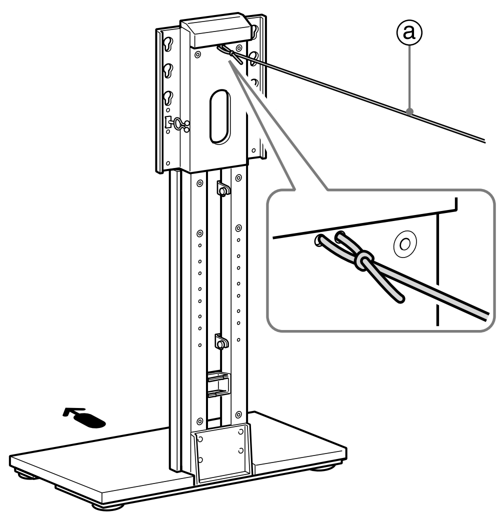
❸ 固定ネジⓃ(2本)をしっかり締める。



5 **市販の丈夫なひもまたはクサリⓐを支柱Ⓐに取り付ける。**

ご注意

転倒防止のために必要です。テレビを取り付けたあとでは、ⓐをⒶに取り付けることができません。



2 テレビの取り付け準備をする

部品の取り付けかたは、テレビの画面サイズによって異なります。対応モデル（☞ 2ページ）以外をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

1 ブラケット32型用ⒼⒽまたはブラケットⒾⒿをテレビに取り付ける。

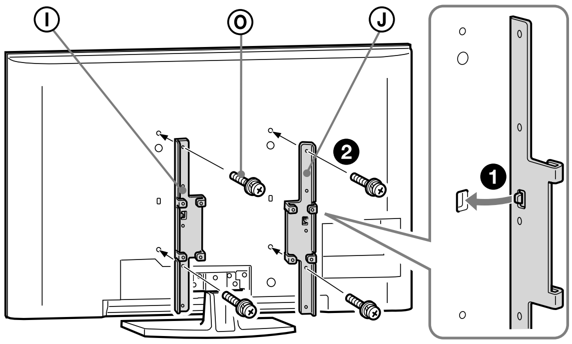
ご注意

別部品が必要なモデルもあります。

A 40型から46型のとき：

❶ ブラケットⒾⒿの突起部分がテレビ後面の角穴におさまるように位置を合わせる。

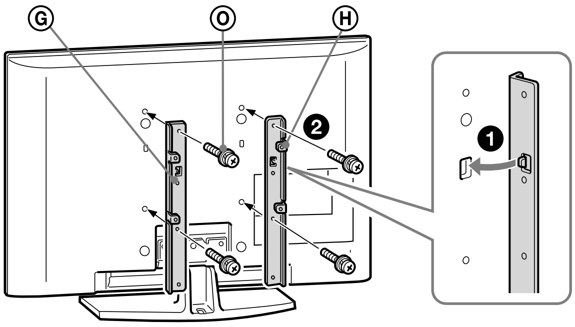
❷ ネジ（M6×16）Ⓞ（4本）で固定する。



B 32型のとき：

❶ ブラケット32型用ⒼⒽの突起部分がテレビ後面の角穴におさまるように位置を合わせる。

❷ ネジ（M6×16）Ⓞ（４本）で固定する。



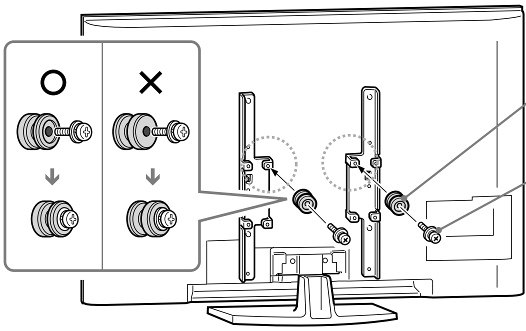
2 フックⓂをブラケット32型用ⒼⒽまたはブラケットⒾⒿに取り付ける。

ご注意

別部品が必要なモデルもあります。

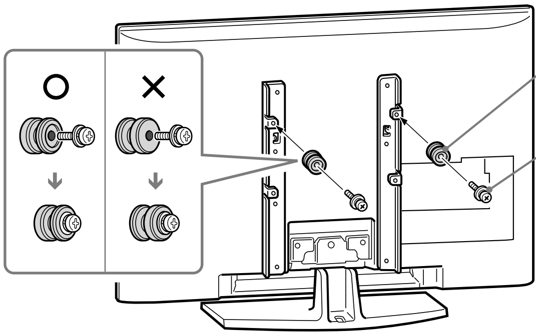
A 40型から46型のとき：

上側の内の穴にフックⓂをネジ（M6×16）Ⓞ（2本）で固定する。



B 32型のとき：

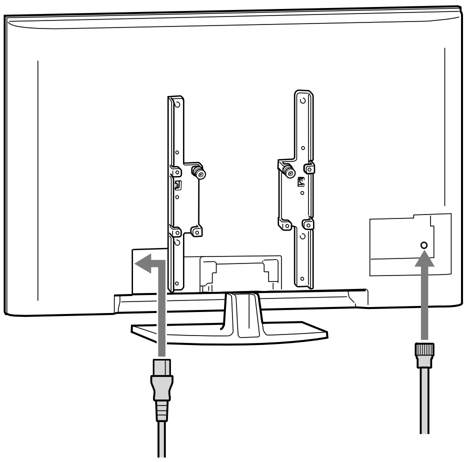
上側の穴にフックⓂをネジ（M6×16）Ⓞ（2本）で固定する。



3 電源コードとアンテナ線をテレビに取り付ける。

ご注意

- 電源コードがテレビにつながっているときは、アンテナ線のみ取り付けてください。
- モデルによってケーブル類を取り付ける位置が異なります。必ずテレビ本体付属の取扱説明書をご覧ください。
- テレビを取り付けたあとでは、モデルによってはケーブル類を取り付けることができません。

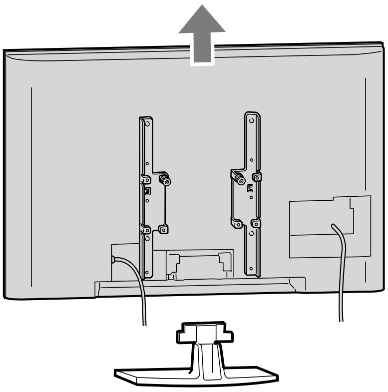


4 テーブルトップスタンドをテレビからはずす。

テレビ本体付属の取扱説明書をご覧になり、テーブルトップスタンドを取りはずしてください。

ご注意

テレビによってテレビ後面のネジをはずす位置と本数、テレビの持ち方が異なります。必ずテレビ本体付属の取扱説明書をご覧ください。



3 テレビを取り付ける

1 テレビを支柱Ⓐに取り付ける。

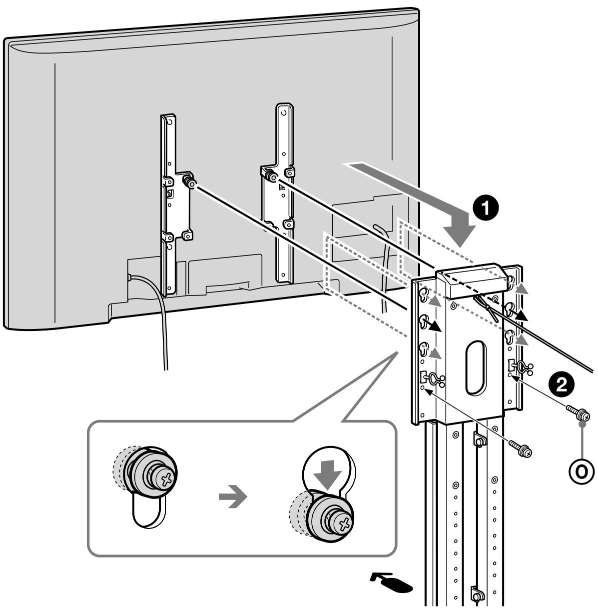
❶ テレビに取り付けたフックⓂを支柱Ⓐの取り付け穴に差し込む。

テレビの高さは3段階に選択できます。

ご注意

フロントカバー Ⓒとテレビとの間に電源コードをはさまないようにしてください。

❷ テレビと支柱Ⓐをネジ(M6×16)Ⓞ(2本)で固定する。



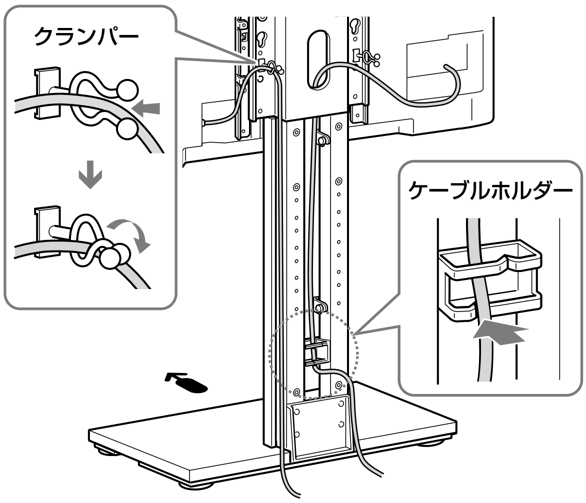
4 ケーブル類をまとめる

1 ケーブル類をテレビに接続したあと、ケーブルをまとめる。

電源コードはクランパーで、接続ケーブルはケーブルホルダーで固定してください。

ご注意

電源コードはケーブルホルダーでまとめないでください。

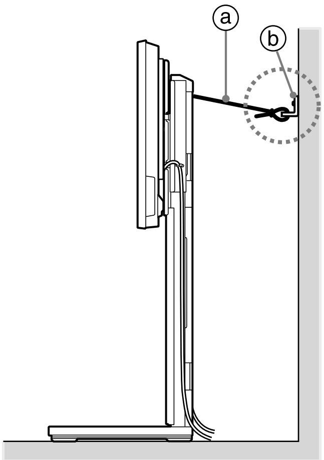


5 転倒防止の処理をする

センタースピーカーを取り付けるとき：
アームⓀと棚板Ⓛを先に取り付けてから転倒防止の処理を行ってください。
（「センタースピーカーを取り付けるとき（ホームシアターシステムをご使用のとき）」を参照してください。）

1 壁に支柱Ⓐを固定する。

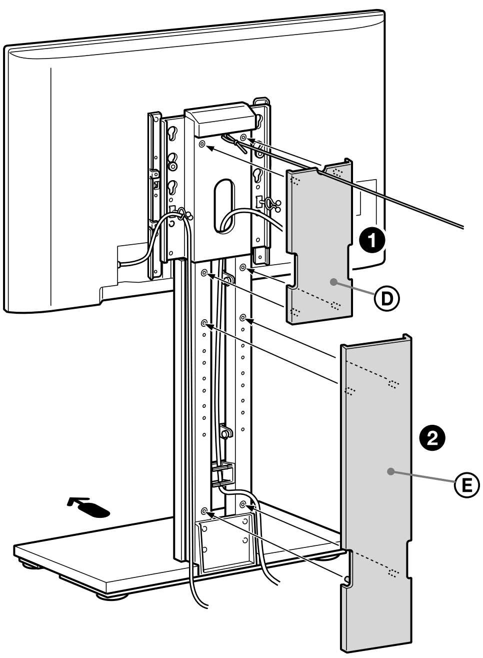
しっかりした壁に市販の転倒防止用の取り付け具ⓑを固定して、ⓐとしっかりつなぐ。



2 リアカバートップⒹとリアカバーボトムⒺを支柱Ⓐに取り付ける。

❶ リアカバートップⒹを支柱Ⓐに取り付ける。

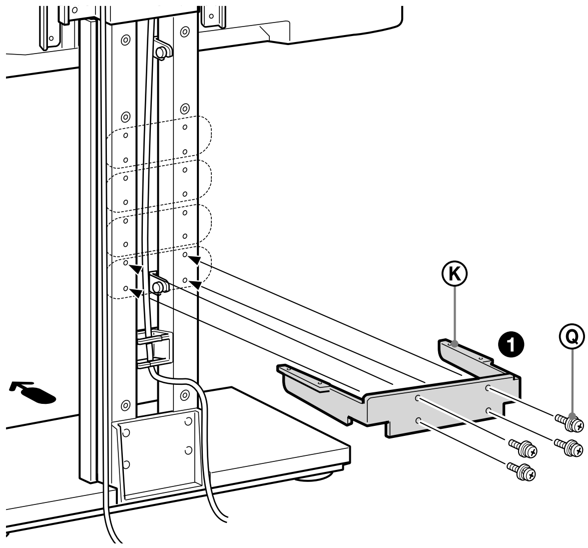
❷ リアカバーボトムⒺを支柱Ⓐに取り付ける。



センタースピーカーを取り付けるとき（ホームシアターシステムをご使用のとき）

❶ アームⓀを支柱Ⓐに取り付け、ネジ（M4×8）Ⓠ（4本）で固定する。

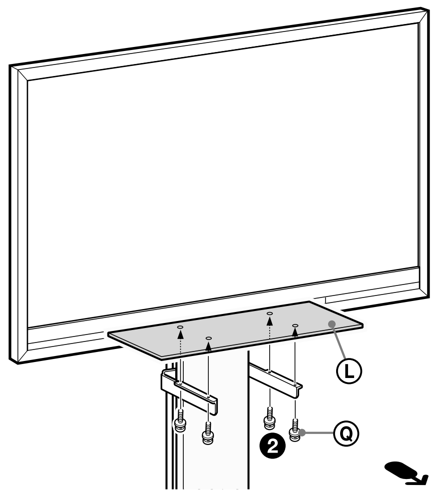
アームⓀの高さは4段階に選択できます。



❷ 棚板Ⓛをネジ（M4×8）Ⓠ（4本）で固定する。

ご注意

- 電動ドライバーは使用しないでください。強く締めすぎるとアクリル板が破損するおそれがあります。
- 棚板の耐加重は2kgです。2kgを超えるものや、棚幅の380mmより長いものは載せないでください。



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・	0466-31-2511
修理相談窓口	
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「999」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Printed in China